

『会社四季報』記者が迫る 決算の表と裏

明治28年11月14日第3種郵便物認
第6746号 2017年9月9日発
毎週土曜日発行(9月4日発売)
ISSN0918-57

Weekly
Toyo Keizai

週刊 東洋経済

2017
9/9
定価690円

経済ニュースを
深読みする

本物の 会計力

東芝の原発子会社が
破綻を選んだ理由

予兆は見えていた
ヤマトの未払い残業代

10兆円ファンド連結
ソフトバンク強気のワケ

日本郵政、ソニー
なぜ今減損したのか

麒麟、アサヒの利益が
IFRSでかさ上げ

会計力を鍛える
「5つの習慣」はこれだ



あしたの健康保険、だいじょうぶ？

健康みらいトーク in 大阪

世界でも類を見ない優れた医療保険システムである、日本の健康保険制度。誰もが享受できるこの大切な仕組みを維持するために必要なことを考える「健康みらいトーク」が大阪市中央公会堂で開催され、フリーアナウンサーの生島ヒロシ氏の講演のほか、3名の衆議院議員によるパネルディスカッションが行われた。

制作 東洋経済企画広告制作チーム

【開会あいさつ】



健康保険組合連合会大阪連合会
小笹 定典 会長

【講演】



フリーアナウンサー
生島 ヒロシ 氏

いのち・志のすべてが健全でこそ健康体」として「一日一生」という人生訓にまで話題は及んだ。

【パネルディスカッション】

健康で元氣な社会のために

一人ひとりが健康を心がけ
医療費を抑える努力が必要

梅村 平成25年度に国民医療費は40兆円を超え、今後さらに増えることが予測されています。健康保険制度を守っていくためには国民一人ひとりが日頃から健康づくりを心がけ、医療費の節約に努める必要があります。国会議員として厚生労働分野で

力を尽くしておられるお三方は、健康保険制度の今後についてのようにお考えですか。

長尾 国民の誰もがいつでも自由に使える「皆保険制度」のおかげで、これまで私たちには「病気を予防する」という意識が希薄だったので、ないでしょうか。少子高齢化の流れを止めることはできません。しかし私たちの意識を少し変えて健康に気をつけるだけで、かなり医療費を減らすことができるかと私は考えています。その一つとして提唱したいのが、口の中の衛生維持です。口腔の健康が病気になる確率を減らすことが科学的に実証されつつあり、いわゆる「骨太の方針2017」にも「歯科健診の充実、口腔機能管理の推進」が明記されました。ぜひ今日から「口の中の健康づくり」に努めていただきたいと思います。

伊佐 医療費の節約という点で、病気の中でも最も死亡率の高い「がん」といかに向き合うかが国会でも議論になっていきます。いまや女性の二人に一人、男性の約6割ががんになるという時代。しかしがんは予防することも、また早期に発見すれば治すことも可能な病気です。私はそうしたがんに対する啓発を教育現場で行うべく取

り組んできました。いよいよ次期学習指導要領でがんについて扱われることが決まり、中学校からがん教育が始まることになりました。学校での教育が、子どもを通じて大人への啓発にもつながることを期待しています。

「いつまでも若く生きる秘訣」と題し、フリーアナウンサーの生島ヒロシ氏が自身の経験を交えながら、日常でできる健康法について語った。喉や口腔ケアの重要性、脳・神経系の活性化、足腰を鍛える体操など多岐にわたるアドバイスから「身体、心、

り組んできました。いよいよ次期学習指導要領でがんについて扱われることが決まり、中学校からがん教育が始まることになりました。学校での教育が、子どもを通じて大人への啓発にもつながることを期待しています。

松浪 「亡くなり方」について考えることも欠かせません。私は今46歳ですが、すでに「生前整理」を始めています。自分がどのような最期を迎えたいか「リビング・ウィル」について考え、家族や主治医と話し合っ

おくことが、家族や本人の幸せになり、結果的に医療費の抑制にもつながります。「リビング・ウィル」は、健康保険制度を考える上で避けては通れない重要なテーマです。国会議員として国民の皆さんとさらなる対話をしていきたいと考えています。

松浪 私たちが当たり前のように享受している健康保険制度は、世界に例のないすばらしい仕組みです。それを誇りに思いつつ、抑制的に使わなければならない。これからのこの制度を維持するべく、皆さんと力を合わせていきたいと思っています。



コーディネーター
医師 前参議院議員 梅村 聡 氏



パネリスト
衆議院議員 自由民主党 長尾 敬 氏

梅村 もし健康保険がなくなったら、誰もがどこでも使えるという「フリーアクセス」の原則が崩れ、利用できない医療機関が制限されたり、多額の医療費を自己負担しなければならなくなるかもしれません。健康保険の大切さを改めて考えさせられます。

世界最高ともいえる仕組みを
守るため皆で力を合わせたい

梅村 将来の女性の平均寿命は95歳、男性は91歳になるといわれています。つまり高齢者の方々に健康に過ごしていただくことが、健康保険制度の維持にとって非常に重要なことです。今日のシンポジウムが、皆さんが健康づくりに取り組むきっかけになればと願っています。

【開会あいさつ】



衆議院議員 公明党 伊佐 進一 氏



衆議院議員 日本維新の会 松浪 健太 氏



健康保険組合連合会
白川 修二 副会長

伊佐 一方的にメリットを受け取るのではなく、苦勞も皆で「分かち合う」のが健康保険制度だと私は考えています。「お互い様」の制度であることを今一度念頭に置いて、そのあり方を国会でも議論していきたいですね。

閉会に際し、健保連の白川修二副会長は「国民一人ひとりが問題意識を持ち、健康保険制度について議論しなければならぬ時に来ている」と語り、「健保組合がその先頭に立っていきなさい」と決意を述べた。

